

2013.04.16

情報処理演習～ワードその 1

担当教員：吉村亮一

要旨：

背景：現在社会および大学生活において、コンピュータの扱いにある程度慣れることは必要不可欠である。「Microsoft Word」はもっともよく使われるワードプロセッサアプリケーションソフトであり、その基本的な使用方法を実際に使って学ぶ。

アウトライン

アウトライン表示を使う。ドラッグで階層を変更する。文章構造を意識しながら文章を書く（論理的な文章を書く）。さしあたり体裁は考えない。

書式

A4、B4 などの用紙の大きさ。横長、縦長。縦書き横書き。余白の確認と設定。

配置

両端揃え

背景：現在社会および大学生活において、コンピュータの扱いにある程度慣れることは必要不可欠である。「Microsoft Word」はもっともよく使われるワードプロセッサアプリケーションソフトであり、その基本的な使用方法を実際に使って学ぶ。

左寄せ

背景：現在社会および大学生活において、コンピュータの扱いにある程度慣れることは必要不可欠である。「Microsoft Word」はもっともよく使われるワードプロセッサアプリケーションソフトであり、その基本的な使用方法を実際に使って学ぶ。

中央寄せ

背景：現在社会および大学生活において、コンピュータの扱いにある程度慣れることは必要不可欠である。「Microsoft Word」はもっともよく使われるワードプロセッサアプリケーションソフトであり、その基本的な使用方法を実際に使って学ぶ。

右寄せ

背景：現在社会および大学生活において、コンピュータの扱いにある程度慣れることは必要不可欠である。「Microsoft Word」はもっともよく使われるワードプロセッサアプリケーションソフトであり、その基本的な使用方法を実際に使って学ぶ。

フォント

様々なフォントがある。.....丸ゴシック
様々なフォントがある。.....教科書体
様々なフォントがある。.....行書体
様々なフォントがある。.....創英角ポップ体
基本は明朝フォント。.....明朝体

プロポーショナルフォントとは？（以下は例文）

(MS 明朝)

背景：現在社会および大学生活において、コンピュータの扱いにある程度慣れることは必要不可欠である。「Microsoft Word」はもっともよく使われるワードプロセッサアプリケーションソフトであり、その基本的な使用方法を実際に使って学ぶ。

(MS P 明朝)

背景：現在社会および大学生活において、コンピュータの扱いにある程度慣れることは必要不可欠である。「Microsoft Word」はもっともよく使われるワードプロセッサアプリケーションソフトであり、その基本的な使用方法を実際に使って学ぶ。

(MS ゴシック)

背景：現在社会および大学生活において、コンピュータの扱いにある程度慣れることは必要不可欠である。「Microsoft Word」はもっともよく使われるワードプロセッサアプリケーションソフトであり、その基本的な使用方法を実際に使って学ぶ。

(MS P ゴシック)

背景：現在社会および大学生活において、コンピュータの扱いにある程度慣れることは必要不可欠である。「Microsoft Word」はもっともよく使われるワードプロセッサアプリケーションソフトであり、その基本的な使用方法を実際に使って学ぶ。

文字修飾

文字の**大きさ**、**太字**、**斜体**、**囲み**、**文字色**、^{上付き文字}、_{下付き文字}など

強調には**太字修飾**よりも**ゴシックフォント+太字**を使う方が効果的

文字数

一行の文字数、一ページの行数（行間）。

段落

段落の前後の行間。インデント

タブとリーダー、行番号

ヘッダーとフッター

ページ番号、ランニングタイトル

段組

一段、二段・・・

セクションと改ページ

図表

図表を貼り付ける。文字の回り込み設定



検索と置換

保存

docx（または doc）型式で保存。pdf 形式などでも保存できる。

まとめ

アプリケーションソフトに依存：アプリケーションによって、あるいはそのバージョンによって、使い勝手が異なる。操作法に必然性はあまりない。基本機能の多くは共通。便利機能は自分の環境だけに特有なものが多い。やり方はひとつとは限らない。何でも出

来るわけではないが、要求に近いことが出来ることもある。すべてを知る必要はないが、知っているると便利なこともある。完璧を目指さない。

結論：知っている人がいればその人に聞くのが一番の早道であり王道である。

130416 情報処理演習

学籍番号：

氏名：

本日の一言（感想、学んだこと、感心したこと、困ったことなど）：

課題の提出先：saibo@kit.ac.jp